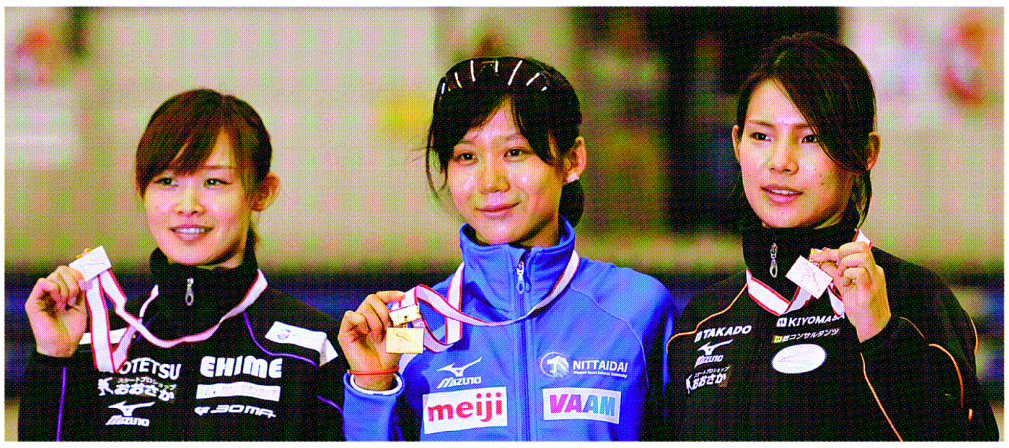
(C)十勝毎日新聞社

高木美 史上初4冠

女子1000国内最高 1分14秒89

スタートのミス修正
短距離女王も認める快走



【女子1000㍍】（左から）２位の郷亜里砂、優勝の高木美帆、３位神谷衣理那

会場がどよめく中、高木美帆はゴール後、人さし指を突き出した両手を高く掲げた。

初日、２日目と際立った強さを示して迎えた最終日。この日は抜群の修正力を発揮した。中長距離のヨハン・デビットヘッドコーチ（オランダ）から「1000㍍はスタートで出遅れると全てが崩れる」と注意されて臨んだが、いきなり右足が氷をうまく捉えられず抜けた形に。数歩はバタバタとした動きとなった。これまでなら焦っていたが、「無理に滑ってもスピードに乗れない。まずはしっかりと追い掛けよう」と、シフトチェンジをした」と冷静だった。先行するスピードのある神谷衣理那の背中を見詰めた。

ラスト1周は圧巻だった。上体のブレの少ない安定したフォームで力強く進み29秒08。29秒台は、29秒91の菊池彩花（富士急）と２人だけだった。２組後の小平奈緒の転倒という思わぬ形で優勝が決まった。小平が「素直に（高木美のタイムは）良い記録だった。私もやってやろうと意気込みすぎたかもしれない」と話すほどの快走だった。

ナショナルチームで切磋琢磨（せっさたくま）し、年々力強さを増している。「世界でもスターと言われる特別な選手。まだまだ良くなる」とヨハンヘッドコーチの期待も高い。高木美も世界のトップと戦い、厳しさは肌で感じている。大会期間中に繰り返した言葉は「世界の選手がどれだけ伸びているか分からない。結果よりもレースでできたこと、できなかったことを見返して次に生かすことが大切」。五輪を視野に入れて浮つくことのない一貫した姿勢は、すごみを感じさせる。

郷 連日の銀

神谷は3位に

【女子1000㍍】神谷衣理那と競り合う高木美帆（左）。国内最高記録で初優勝を遂げた

小平を猛追

郷

○…郷亜里砂が1000㍍でも強さを見せた。全日本距離別選手権で初の表彰台となった前日の500㍍に続く2位は、さらなる成長を予感させた。

同走で前を走る小平奈緒を目標に追い続け、200～600㍍で差を少し詰めるなど健闘。力だけでなくスケーティングで一歩が伸びるようになった。ゴール前で、転倒してアウトレーンの自分の前を横切った小平を避けるため、足の動きを止めてスピードを落として衝突を回避。完全燃焼とはいかなかったが1分15秒64の国内自己新をマークした。「ゴールはすぐそこだったので、そんなに影響はなかったです」と笑った。

短距離のロビン・ダークスヘッドコーチ（オランダ）と話し合い、よりメダルに近い500㍍のトレーニングをメインにしてきたが、「1000㍍も上位で戦いたい」と目を輝かせた。

国内自己ベストも「五輪へもう一皮」

神谷

○…神谷衣理那は序盤のスピードが光り、国内自己記録となる1分15秒68の好タイムでゴールした。

600㍍の通過は小平奈緒と0秒01しか変わらなかった。「しっかりと氷を捉えて大きく滑れた。600㍍までは評価しても良いと思う」とうなずいた。

今季は自身の成長とともに、周囲のレベルの高さも実感している。「低いところでやっていてもW杯で勝てない。高いからこそ楽しい」と頼もしい。ソチ五輪の代表選考会では好成績を収めながらも代表の座を逃した。「今の位置では確実とは言えない。一皮むけないと。（選考会までの）２カ月あれば絶対に変われる。日々を大切に過ごしたい」と気を引き締めていた。

小田と勝負できた

男子1000㍍4位の羽賀亮平（日本電産サンキョー―日大、白樺学園高出）の話　国内ベストはうれしいが1分9秒台を出したかった。昨季のW杯で表彰台に上がった小田（卓朗）選手と勝負できた。良い形でシーズンに入れた。

平昌譲れない

同31位の及川佑（大和ハウス工業―山梨学院大、池田高出）の話　結果として受け止めたい。1000㍍は今後を見据えてブレードを替えた。平昌は皆が狙っているが自分も譲れないものがある。２カ月で調整して五輪選考会に臨みたい。

キレなかった

女子1000㍍4位の辻麻希の話　最低限の結果は出せた。（3位だった）前日の500㍍のようなキレがなかった。スタートから動きが重かった。

体力と技術必要

同5000㍍3位の高橋菜那（ダイチ―山梨学院大、白樺学園高出）の話　自己ベストに届かず、内容も駄目だった。5000㍍は体力も技術も必要な種目。レースを多くこなして体で覚えていきたい。

三輪、藤村も健闘2位

五輪に向け存在感

不調脱し笑顔

藤村

○…5000㍍で2位に入った藤村祥子は、不調から脱した滑りに笑顔を浮かべた。1000㍍から7周を34秒台前半のラップを保った。「今までより落ち着いて入れた。最後の3周で力んでタイムを落としたことが今後の課題」と振り返った。

初出場した2014年のソチ冬季五輪を終え、平昌五輪に目標を定めたが、「この3年間はぱっとした記録を出せず、五輪の現実味を感じなくなった」。練習でもレースでも自身のイメージとかけ離れた滑りで苦しんだ。

今季は基礎から見直し、体作りから始めた。4月からトレーナーに付いてもらい、体幹トレーニングに力を注いだ。W杯は第2戦の5000㍍のみ出場する。「好不調の波を減らし、とにかくベストを尽くしたい」と力を込めた。

女子5000㍍で2位に入った藤村祥子は大会関係者から祝福され、笑顔を見せる

失敗も驚きの記録

三輪

○…「ミスがあったので、自己ベストでの大会新記録にびっくりした」。1分9秒69の表示に、三輪準也は目を丸くした。

スタートで失敗し、カーブでの加速につなげられなかった。それでも600㍍の通過は42秒23と自己最速で、優勝した小田卓朗を0秒33上回っていた。「自分の知らないところで力が付いているのかな」

白樺学園高2年時に帯広で実施されたW杯で100㍍のBクラスに出場。法大1年の2013年には5000㍍のBクラスで22位。世界との大差を痛感し、目標だった世界のトップを諦めた。練習量が減ると共に、夢もインカレでの優勝から入賞へと小さくなり続け、昨春の就職を機に一時競技からも離れた。

ナショナルチームで自身の想像を超えて躍進する24歳。「何歳になっても成長できる。もう逃げない。世界一を目指す」。きっぱりと言い切った。

全日本距離別スケート

【長野】最終日は22日、長野市のエムウェーブで男女6種目を行った。女子1000㍍は高木美帆（日体大助手―日体大、帯南商高出）が国内最高、大会記録の1分14秒89で初優勝した。高木美は最終種目のマススタートも制し、出場した全4種目で頂点に立った。4冠は史上初で、マススタートを除いた3冠も第19回大会の小平奈緒（相澤病院）以来5年ぶり2人目の快挙。1000㍍は郷亜里砂（イヨテツ―山梨学院大、白樺学園高出）が大会新で2位。小田卓朗（水戸開研）が制し、1500㍍との2冠となった。女子5000㍍は藤村祥子（美十―日体大、帯南商高出）が2位で、男子マススタートの三輪も2位に入った。（北雅貴、金野和彦）

W杯前半戦出場 十勝関係は15人 高木菜は実績考慮

◇第1～4戦

▽男子＝山中大地（電算）坂本永吉（みどりクリニック）羽賀亮平（日本電産サンキョー―日大、白樺学園高出）加藤条治（博慈会）後藤卓也（福井県体協―日大、帯農高出）村上右磨（村上電気）長谷川翼（日本電産サンキョー―日大、白樺学園高出）大和田司（味のちぬや―北翔大、同高出）小田卓朗（水戸開研）三輪準也（フィットラボ―法大、同高出）近藤太郎（ANAS）ウイリアムソン師円（日本電産サンキョー）土屋良輔（メモリード）一戸誠太郎（信州大）小川拓朗（abcdrug―白樺学園高出）大林昌仁（福井県体協）中村奨太（ロジネットジャパン）

▽女子＝小平奈緒（相澤病院）郷亜里砂（イヨテツ―山梨学院大、白樺学園高出）辻麻希（開西病院）神谷衣理那（高堂建設）曽我こなみ（ホテル東日本）高木美帆（日体大助手―日体大、帯南商高出）佐藤綾乃（高崎健大）菊池彩花（富士急）押切美沙紀（同―駒大苫小牧高、中札内中出）高橋菜那（ダイチ―山梨学院大、白樺学園高出）松岡芙蓉（富士急）藤村祥子（美十―日体大、同高出）高木菜那（日本電産サンキョー―帯南商高出）

◇ジュニアW杯

▽男子＝石川斗来（専大―白樺学園高出）久保向希（白樺学園高）松津秀太（秀明英光高・埼玉）林利輝（ダイチ）山本大史（明大）高見澤光希（小海高・長野）

▽女子＝稲川くるみ（帯三条高）熊谷萌（盛岡工高・岩手）長崎叶和子（池田高）吉村優那（帯南商高）ウィリアムソンレミ（山形中央高）小坂凛（同）

（22日・７位以下関係分）

【男子】

◇1000㍍

世界記録	シャニー・デービス（米国）	1分６秒42
日本記録	長島圭一郎（日本電産サンキョー）	1分８秒09
大会記録	中村　駿佑（EH）	1分９秒88
リンク記録	キエルド・ナウス（オランダ）	1分８秒46
①小田	卓朗（水戸開研）	1分９秒59
②三輪	準也（フィットラボ―法大、白樺学園高出）	1・９・69
③近藤	太郎（ANAAS）	1・９・78
	＝以上大会新	
④羽賀	亮平（日本電産サンキョー―日大、白樺学園高出）	1・10・003
⑤山中	大地（電算）	1・10・007
⑥山田	将矢（日大一池田高出）	1・10・03

⑦大和田司（味のちぬや―北翔大、白樺学園高出）1・10・21⑧長谷川翼（日本電産サンキョー―日大、同高出）1・10・27⑩小坂龍（福井県体協―専大、同高出）1・10・35⑪松井大和（日大一鹿追高出）1・10・40⑬久保向希（白樺学園高）1・10・48⑮大和田真（日本建物管財―北翔大、本別高出）1・10・73⑲渡部知也（シリウス―日体大、池田高出）1・11・10⑳池田崇将（福井県体協―専大、白樺学園高出）1・11・15㉒小原憂雅（高崎健大―帯南商高出）1・11・29㉕石川斗来（専大一白樺学園高出）1・11・492㉖後藤卓也（福井県体協一日大、帯農高出）1・11・493㉗長島圭一郎（リカバリー―同大、池田高出）1・11・498㉚岩佐理央（帯南商高）1・11・60㉛及川佑（大和ハウス工業―山梨学院大、池田高出）1・11・87㉞堀川大地（白樺学園高）1・12・58㉟辻本一史（専大一帯農高出）1・12・62㊱野々村太陽（白樺学園高）1・12・69㊵向山恭平（同）1・13・67㊶町光二郎（北大一帯柏葉高出）1・14・37

◇10000㍍

世界記録	テッドヤン・ブローメン（カナダ）	12分36秒30
日本記録	土屋　良輔（専大）	13分11秒94
大会記録	小川　拓朗（abcdrug）	13分20秒78
リンク記録	スベン・クラマー（オランダ）	12分57秒71
①土屋	良輔（メモリード）	13分31秒04
②大林	昌仁（福井県体協）	13・33・75
③一戸誠太郎	（信州大）	13・41・26
④帰山	雄太（水戸開研）	13・45・32
⑤土屋	陸（日本電産サンキョー）	13・45・57
⑥小川	翔也（福井県体協一専大、池田高出）	13・47・86

◇マススタート

①中村	奨太（ロジネットジャパン）	60（７分57秒14）
②三輪	準也（フィットラボ―法大、白樺学園高出）	40（７・57・17）
③ウイリアムソン師円	（日本電産サンキョー）	20（７・57・22）
④土屋	陸（日本電産サンキョー）	８（８・15・26）
⑤小川	拓朗（abcdrug―白樺学園高出）	５（７・59・69）
⑥篠原	克哉（明大）	５（８・19・48）

⑩東城拓也（ダイチ―白樺学園高出）０（８・２・61）⑫大竹拓三（法大一駒大苫小牧高、芽室中出）０（８・16・90）

【女子】

◇1000㍍

世界記録	ブリタニー・ボウ（米国）	1分12秒18
日本記録	小平　奈緒（相澤病院）	1分12秒51
大会記録	小平　奈緒（相澤病院）	1分15秒08
リンク記録	ヘザー・ベルフスマ（米国）	1分14秒81
①高木	美帆（日体大助手―日体大、帯南商高出）	1分14秒89
	＝国内最高、大会新	
②郷	亜里砂（イヨテツ―山梨学院大、白樺学園高出）	1・15・64
③神谷衣理那	（高堂建設）	1・15・68
④辻	麻希（開西病院）	1・16・58
⑤菊池	彩花（富士急）	1・16・96
⑥佐藤	綾乃（高崎健大）	1・17・42

⑧辻本有沙（電算一信州大、白樺学園高出）1・18・06⑩浅野実久（高崎健大―帯南商高出）1・18・33⑪押切美沙紀（富士急―駒大苫小牧高、中札内中出）1・18・77⑯小野寺優奈（高崎健大―帯南商高出）1・19・80⑰川村聖亜（イヨテツ一白樺学園高出）1・19・90⑱山根佳子（日体大一帯柏葉高出）1・19・91⑲宇佐見鈴音（同一帯農高出）1・20・28㉑稲川くるみ（帯三条高）1・20・39㉒虫狩光桜（山梨学院大一池田高出）1・20・47㉓長崎叶和子（池田高）1・20・63㉔永田希絵（福井県体協一高崎健大、帯南商高出）1・20・74㉕加藤梨乃（日体大一池田高出）1・20・93㉘吉村優那（帯南商高）1・21・28㉛太田凪砂（信州大一帯南商高出）1・21・80㉞持田あかり（山梨学院大一白樺学園高出）1・22・16㊳古川幸希（新得中）1・23・32㊴松隈梨乃（帯南商高）1・23・77㊵桑原僚己（池田高）1・23・95

◇5000㍍

世界記録	マルチナ・サブリコワ（チェコ）	６分42秒66
日本記録	石野枝里子（日本電産サンキョー）	６分55秒07
大会記録	穂積雅子（ダイチ）	７分６秒44
リンク記録	マルチナ・サブリコワ（チェコ）	６分58秒22
①松岡	芙蓉（富士急）	７分11秒51
②藤村	祥子（美十一日体大、白樺学園高出）	７・13・79
③高橋	菜那（ダイチ一山梨学院大、白樺学園高出）	７・20・44
④酒井	寧子（高崎健大一帯南商高出）	７・20・45
⑤田畑	真紀（日本建物管財）	７・25・01
⑥阿部	真衣（コスモ通信）	７・31・26

◇マススタート

①高木	美帆（日体大助手一日体大、帯南商高出）	61（９分19秒37）
②佐藤	綾乃（高崎健大）	43（９・19・42）
③北原	もえ（信州大）	20（９・19・50）
④堀	あかり（高崎健大）	10（９・40・22）
⑤水澤	彩佳（日体大）	６（９・40・47）
⑥松岡	芙蓉（富士急）	５（９・23・61）

⑦澤尻磨里英（八戸学院大一白樺学園高出）２（９・29・47）⑧高橋菜那（ダイチ一山梨学院大、同高出）０（９・22・47）⑩瀧上つくし（高崎健大一同高出）０（９・29・78）